

## フィデリティ・ターゲット・データ・ファンド(ベーシック) 2050

## ◆ファンドの特色

- 主な投資対象 ..... 市場指標と連動する投資成果を目指す投資信託証券への投資を通じて、主に、国内株式、先進国海外株式、新興国株式、世界債券、国内短期債券・短期金融商品等の資産クラスへ実質的に分散投資を行ないます
- ベンチマーク ..... 設定していません
- 目標とする運用成果 ..... 投資信託財産の成長を図ることを目的とします

元本確保型の商品ではありません

## ◆基準価額、純資産総額

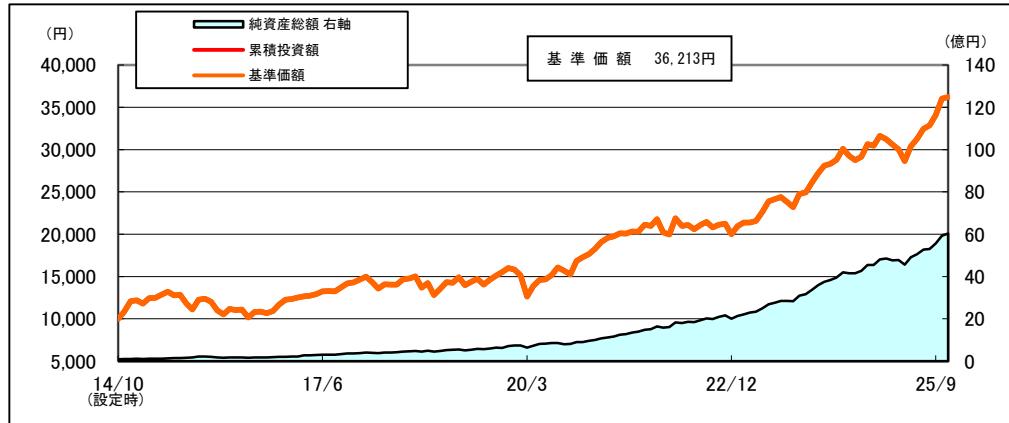
基準価額	36,213 円
純資産総額	60.4億円

◆資産構成  
(2025年10月31日現在)

投資信託・投資証券	100.01%
現金等	-0.01%

\* 比率は純資産総額対比

## ◆基準価額の推移グラフ



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。  
ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。  
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。

## ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの收益率とリスク(標準偏差)

(2025年11月末現在)

	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド收益率(分配金再投資)	10.22%	19.19%	18.93%	19.46%	16.54%	11.33%	11.50%
ベンチマーク收益率							
差異							
ファンドリスク(分配金再投資)				11.70%	11.06%	11.15%	14.40%
ベンチマークリスク							14.93%

\* ファンド(分配金再投資)の收益率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の收益率です。

\* 収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。

\* 収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算しておりません。

## ◆ポートフォリオの状況 (ファンド別組入状況)

(2025年10月31日現在)

## 【資産別】

投資対象	ファンド ウェイト
株式	81.61%
債券・短期金融資産等	18.40%
現金等	-0.01%
合計	100.00%

## 【株式】

ファンド名	ファンド ウェイト
フィデリティ・インデックス・U.S.・ファンド	45.82%
フィデリティ・インデックス・エマージング・マーケット・ファンド	12.50%
フィデリティ・インデックス・ジャパン・ファンド	12.02%
フィデリティ・インデックス・ヨーロッパ(除くU.K.)・ファンド	7.70%
フィデリティ・インデックス・U.K.・ファンド	2.13%
フィデリティ・インデックス・パシフィック(除く日本)・ファンド	1.44%
合計	81.61%

## 【債券・短期金融資産等】

ファンド名	ファンド ウェイト
バンガード®・トータル・インターナショナル債券市場ETF	10.13%
バンガード®・米国トータル債券市場ETF	8.28%
合計	18.40%

\* 未払金等の発生により「現金等」の数値がマイナスになることがあります。

\* 各々の表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

\* ファンドのウェイトは当ファンドの対純資産総額比です。

\* 株式部分は為替ヘッジを行なわず、債券部分は為替ヘッジを行なうことを基本とします。なお、市況および資産規模によっては、取引コスト等を考慮し一部為替ヘッジを行なわない場合もあります。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「フィデリティ・ターゲット・データ・ファンド(ベーシック)2050」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、購入者に帰属します。■当資料は、フィデリティ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。